

コミュニティ 人々

私と人とまちの間に

2015.JUN
105号

6

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

公園は誰のもの。

- 2 不法投棄！困った場所をまちの庭へ ～出屋敷団地 あゆみの会～
- 4 …だけじゃない、ロクハ公園 ～あなたとまちと公園のこれからに～
- 5 夏の日差しをいっぱい浴びて ～大塚団地町内会 ワイガヤ会～
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 8 みんなとめん・めん 草津の未来を語ろう
- 9 より道こ道／環境緑化機器 貸出し
- 10 If もしも…コンサート中に災害が発生したら…
まちづくり機器 貸出し
- 11 見つけてスッキリ！／ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第17回 どうだ 京都よ……

ロクハさくらまつり

雨が多かった今年の春、「花見のタイミングを逃してしまった」って人もいるかもしれません。多くの家族連れでにぎわった「ロクハさくらまつり2015」(4月12日・ロクハ公園)で見かけた微笑ましい親子のツーショット。昭和の歌のステージに合わせてロずさむ二人の姿に心が和みました。



コミュニティくさつ

町内会や市の協力をいただき、**今号より全戸配布となりました。**
ゆっくりとお楽しみいただけます。
市民の視点を大切に、これからも
“まちの魅力”をお届けします。

青い空、入道雲、夕立、海、花火、虫とり、高校野球、夏休み…そう、夏がやってきます。人それぞれの夏の思い出。どこか懐かしくて、どこかなく切ない。こう思ってしまうのも歳のせい。好きです、夏。
「カラン」「ロン」氷の音して夏が来た。「水でっほっ、うらぎらないとつまんない」「やちんちんも」「ごも歳時記」より



学校の行き帰り、犬の散歩、ウォーキングにサイクリング、ちょっと立ち話…と市民の憩いの場となっている旧草津川堤防。チューリップや色とりどりの季節の草花が道行く人々の心をなごませてくれる、ひととき華やかな一画があります。人の手入れにより美しく保たれたこの場所が、以前は不法投棄と荒れ放題の草に悩まされた場所とは信じられないくらいです。住民を困らせた場所は、憩いと人のつながりを育む場所に生まれ変わりました。そんな物語があります。

イメージ



ここは旧草津川堤防、大津湖南幹線から琵琶湖へと約800mの区間、「あゆみの会 緑化公園」の看板が掲げられた堤防の法面には花壇や藤棚が、そして以前は川底だった場所がきれいに整備されています。ここが物語の舞台。主人公は堤防のふもとにある出屋敷団地の皆さん。前町内会長のご中澤嘉一郎さんや町内の皆さんが荒れ放題の堤防と川底への大量の不法投棄に気づいたのは6〜7年前のこと。空き缶・空きビン・ペットボトル・タイヤ・布団・自転車・バイク・テレビ・冷蔵庫までそれは酷いものでした。清掃日にはトラックが満載になり

「ゴミがゴミを呼ぶ」

夏にはひどく臭う。拾っても拾っても止まない不法投棄。まさしく「ゴミがゴミを呼ぶ」状態でした。

整地というより開拓

中澤さんは町内会で声をかけ有志24名で「あゆみの会」を結成。市と相談し管理協定制度を利用して堤防の草刈りと花を植えることにしました。川底は町内会から借り受け、砂をまいて整備しました。何から何まで手づくり。出屋敷団地はもう40年以上経つ住宅地。今では147世帯の半数以上が65歳以上の高齢者世帯で、ほとんどが現役時代はサラリーマンです。大工仕事も農作業も素人に近い状態です。特に大変だったのは不法投棄の処理。川底だけあって半分埋まったゴミをロープで二つひとつ引つ張りあげました。ぼうぼうの草は刈っても処分しきれない量で花を育てるための堆肥にしました。草の下にはゴロゴロと大きな石が待ち受けています。これも手づくりのふりにかけました。「整地という

FEATURE

不法投棄！困った場所をまちの庭へ
出屋敷団地 あゆみの会

*「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰
花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体
に対し、国民的運動としての緑化推進活動の模範
として表彰される大臣表彰（HPより）

より開拓ですね」と四方さんの言葉が、高齢化したまちの住民にとつてどれほど過酷なものだったのか雄弁に物語ります。

「ゴミがゴミを呼ぶ」のまた逆も真なり。草刈りとゴミの撤去、そして花を植えたからには目に見えて、ゴミを捨てる人が少なくなりました。

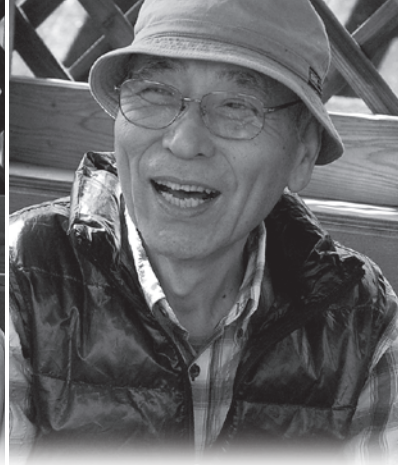




屋敷 ユウコさん



中澤 利江さん



四方 隆さん(会長)



山本 修さん

会の美化活動は月に「回」ですが、「花壇の草花はね、それぞれの家庭で園芸をしている人が種や苗、球根を分けてくれるんです。毎日私たちはおしゃべりしながら草引きしていますわ。天気の良い日はここでお弁当を持って来て食べることもありませう。私ที่บ้านにいなければ孫はまずここを探しに来ます。」と笑い合いながら中澤さん・屋敷さん。

一人ひとりのだいじな場所 「まちの庭」

実は出屋敷団地には自治会館はあるものの、これまでに公園はありませんでした。夏まつりも警察から使用許可を得て町内の道路で行っていました。きれいになった堤防と川底が今は町内会の憩いと人のつながりを育む大切な場です。夏まつりも防災訓練も、グラウンドゴルフなどの軽運動もこの場所。夏のラジオ体操やキャッチボールなど子どもたちや親子の声も戻ってきました。主婦が集まり寄せ植え講座も開催されました。「ここは私たちのまちの庭。家で閉じこもりがちの人が花壇を見に来たり、散歩をしている人から『きれいな花ですね、毎日ご苦労さま』と声をかけられると、もつとがんばろうと思える」

と4人は口を揃えます。

まちのみんなが協力して公共空間をつくり、そこで「コミュニティを育む。一人ひとりの「私のだいじな場所」になつていった活動が模範とみなされ、この度、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞者*として決定しました。私たち草津市民にとっても誇らしいことですね。

実はこの場所、草津川跡地基本構想にかかり数年後には市に返され「子どもから高齢者まで、市民の健康づくりをテーマにしたながら、身近に憩いやすらげる緑の空間を創出する場」として生まれ変わる予定です。少し寂しい気もしますが「それまでは私たちのまちの庭だから、日ごろから手入れし、この環境を維持していきたい。誰かと、何かと出会うコミュニティの場として使っていくきたい」と皆さんは今日も種を撒くのです。



溝さらえ

井戸 民江さん

「町内一斉溝さらえ(河川清掃)を行います。皆様の参加ご協力をお願い致します。大雨以外は作業を決定します。○月○日(日)、午前8時より12時迄、土砂搬入は11時30分までです。我々の生活環境を良くすると共に予期しない災害から命を守りましょう。」

— 町民ニュース「●●」
平成27年○月○日号 —



イメージ

配布された記事を読みながら今年もまた例年の溝さらえの日が近づいたため息が出ます。下流の隣家の境界線で流れが止まり、上流に向かって低くなっているために流れが悪いのです。溝を掃除するたびに底のコンクリートの表面が削られ、次第に砂利が顔を出してきたので不動産屋に苦情を言うと言生コンクリートを流しにくるのですが、固まらなにか流れてしまっています。

私も年々老い、積もる土砂をさらえるのが負担になってきています。さらに、今年は垣根の木が伸びて溝へ垂れ下がりが、覆ってしまい、溝さらえがやりづらくなっています。きて7時すぎから溝さらえが始まりました。わが家の敷地は2軒分なので溝も長いので手間どっていると手伝ってくれます。申し訳ないなあと思いながら無事に溝さらえは終わりまりました。数年前でしたら一人でできたのにと歯がゆいばかりです。

廃棄物を収集するトラックがきましたが、切った枝、溝さらえでた土砂を皆さんが積みこんでくれてすっきりしました。こうして、今年の溝さらえは皆さんのおかげで終わりましたが、来年はどのような溝さらえになるのかと憂うつになります。

— 原文より一部省略 —

清掃日には近所の人も出て

豊かな自然に囲まれたロクハ公園。まず私たちを出迎えてくれるのは色とりどりの季節の草花たち。どれも見事に手入れされています。この草花たちは職員や専門業者が手入れをしていると思っている人も少なくないのでは。実はこれ、「公園サポーター」と呼ばれる市民ボランティアによるものです。公園サポーターは現在60名弱、月に一回のペースで園内や周辺の植栽・剪定からゴミ拾いまでを行います。なかには毎日きてくれる熱心なボランティアさんもいます。



FEATURE

…だけじゃない、ロクハ公園
 ～あなたとまちと公園のこれから～

種を蒔こう

4月。取材日はあいにくの雨ながら、すでに今回取材を引き受けてくれた4名は夏に見ごろを迎える花の種蒔き作業をしています。シニア世代の皆さんは市内外から集まったレイカディア大学*の36期生。園芸科で学び、ボランティア実習の活動場所としてロクハ公園にきました。ロクハ公園では自主的に動き、お互いコミュニケーションをとりながら約3時間の作業です。「夏場の水やりも交代でしていきます。家なら育った苗を買ってきますが、ここは種蒔きから始めて育てていくところが面白いですね。月一回の活動なので、来るたびに草花の生長にビックリ。肥料のやり方ひ

とつで生長具合が違うことも見てとれるし楽しいですね。独りなら大変だけど、皆で手分けして作業するからできる。できた花壇を見渡したときの達成感や通りがかった人の『きれいな花ね』との言葉を耳にした時の喜びがやりがいになっています。」

だけじゃない、ロクハ公園

メンバーの一人、川上さんは「レイカディア大学での学びや公園サポーターでの実践を地元でも活かしたい」と、町内会の美化活動グループに加わり、市民センターでプランターの花の手入れもしているとか。「退職して自由な時間ができ、好きなことができるとはうれしい」という皆

さんの言葉のとおり、余裕のできた時間で関心のあったことを更に学んで、施設ボランティアで経験を積み、自らの地域に還元しながら、自然に仲間と楽しみが増えていく。まちの公共施設はとかく「利用する」だけに思いがちですが、このような「だけじゃない」関わり方もあるんですね。花や草花が増やしてくれているのは、まちの彩りと人の笑顔でした。



川上 里江さん



山本 健三さん



宇野 良久さん



寺下 昇三さん

まちの美化に活かしてみませんか!
 ～ロクハ公園サポーター登録制度～

公園サポーターはロクハ公園内の美化やイベントのお手伝いなどに協力いただくボランティアの登録制度です。個人はもちろん、町内の公園や道を花で飾ろうとする地元グループの登録も歓迎です。

ロクハ公園では年に2回、花の苗をお分けし町内の美化に役立ててもらっています。 草津市公園事務所・ロクハ公園 ☎564-3838

*レイカディア大学
 高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援する滋賀県が行っているシニア向けの大学

夏の日差しをいっぱい浴びて

大塚団地町内会 ワイガヤ会

歳を重ねても町内で楽しむ



河川敷に集まった男たち

いきなり夏を迎えたかのようなGW前のある日。10人の男性が草津川の河川敷に集まりました。集まったのは大塚団地町内会のサークル「ワイガヤ会」の面々。この日のメンバーの平均年齢は70歳。広大な敷地の草刈りと翌月にするという200本ものヒマワリの種を蒔く準備です。「名前のとおり、わいわいガヤガヤと楽しみながらすするには、ちょっと広すぎるのでは」なんて思ったのは杞憂でした。ロクハ公園から借りた大型の芝刈機を中心に自然と役割分担をしながら手際よく作業が進んでいきます。

わいわいガヤガヤ
ボランティア

このワイガヤ会、4〜12月までは毎月、この広場の美化活動をするほか、町内に4つある公園の低木の剪定や藤棚の手入れにゴミ集積場の修理、また高齢者世帯には庭木の枝掃いに、買い物や電球交換、家具の移動などちょっとしたお手伝いの「ちよこボラ活動」までするというから、いやはや脱帽です。

こうしてきれいに手入れされた河川敷の広場では子どもたちのサッカー練習にキャッチボールする親子。桜の季節はお弁当を広げるお母さんと小さな子ども姿も見られます。高齢者のグラウンドゴルフの練習に町内あがての防災訓練と、町の人々が様々な形で活用し愛されているとのこと。「ボール遊び禁止」の公園も多くなつた今、こういった光景が見られる場所は貴重なものです。

「大塚団地ではワイガヤ会をはじめ、囲碁や将棋・ハーモニカなど21のサークルがあります。歳を重ねても町内で楽しみや生きがいをもって暮らせるよう、町内でコミュニケーションをとれるようにしています。こうしてワイガヤ会に来られるのも健康の証。同じような世代が集まっているからでしょうか、何かやろうと思つたら集まる人たちがいる。これが気心知れた仲というのですかね。」と町会長の玉木さんの話を聞いていたうちに、作業はひと休み。お茶を飲みながら、わいわいガヤガヤが始まりました。

8月に咲きそうヒマワリは西矢倉大橋やJRの車窓からも楽しめます。夏の日差しをいっばいに浴びて大輪の花を咲かせるヒマワリに、「このまちで元気に健康で」という大塚団地町内会のイメージを重ねてみるのです。



玉木 謙壽さん

That's 談



地域清掃



身の周りにある地域清掃についてのつぶやき・雑談を集めてみました。

- 団地のゴミ集積場は当番が掃除し、積み残しのゴミを持って帰るからいつもきれい。でもまちの外れにある集積場にはいつもゴミ袋が残っている。通りがかりの人も捨てているのではないだろうか。
- マンションのゴミ置き場にいつも積み残しのゴミ。新しく引っ越してきた人や社会生活を意識していない人が捨てているのかな。まだルールを知らない人。
- 中央分離帯や道路脇の田んぼにゴミを捨てるドライバーがいる。
- 高齢化したまち。側溝の清掃をしていると近所に住む若い住民が手伝ってくれるようになりました。
- 側溝を飛びかうホタルを楽しみたい人もいれば、排水が臭うのでコンクリートでふたをしてほしいという住民もいる。町内には色々な価値観を持つ人がいて難しい。
- 家の窓から見える桜を楽しみにしている。今年は色づきが良くなかった。隣のマンションからの排水が桜の根本に流れ出ているせいかもしれない。人の家のことだから口出しもできない。

公園は誰のもの？

草津市
公園緑地課



イメージ

最近、「住民の高齢化で町内の公園清掃が大変になってきた。どうしたらよいのだろう」「公園を市に返すことはできるのか」という相談を受けるようになりました。

市内には大きなものからポケットパークのような小さなものまで児童公園や児童遊園と呼ばれる公園が280カ所弱あり、地元の町内会で清掃や草花の管理をしています。遊具が錆びたり壊れたりして危険な場合や、大きな樹木の剪定などは市で対応しますが、もともと公園は地域みんなのもの。家の前の道路と同じです。みんなが使うものだから、みんなが気持ちよく使いたいから、みんなできれいに保ってほしいと思っています。

とはいえ、子どもの声でにぎやかだったまちも、いずれ子どもたちは巣立ちます。主を失ったブランコやシーソーは錆びだらけ。残った大人も老いを重ねるごとに草刈りもままならなくなっています。

市では相談により、現場を見せてもらったり予算と相談したりしながら草の生えにくいグラウンドに整備する、ストレッチなどの健康遊具に取り換えていくなど、まちや生活の変化に合わせた公園づくりをしています。一方で「孫たちが遊びに来たときのためにもブランコやすべり台を残しておきたい」という町内会もあるので、ご相談をいただいてからの話となります。

最近はランドゴルフをする人たちが熱心に公園をきれいにしてくれるのですが、あまりに大切にすぎで、ベビーカーを押す人たちや遊びに来た幼児たちを追い出してしまうという話も時々耳にします。

『公園はみんなのもの』いま一度みんなで考えていきたいものです。



イメージ



株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして4年目を迎えました。
弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンス
しております。又、企業・一般の方への水の宅配事業も展開しております。
弊社も地域と共に発展したいと考え、
土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施しております。
今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう
日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。

どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。

楽しくも少し考えてしまう。もしかして…これって、みんなの問題かも。



きれいにな～れ



さく・com-com / え・まんじゅう

少しビックリした人もいるかもしれませんが、実はこれ、私 (com-com) が町内会の班長 (組長) をした年のデキゴト。夏を目前にした町内清掃。吹き出す汗をタオルで拭いながら伸びきった雑草との格闘も終え、各自がわが家に帰る道すがら、この奥さんは自分の家の庭で草むしきをしていました。町内清掃には参加していなかったのに、です。その光景を町内清掃帰りの多くの近所の人が目にしていました。数時間後、班長である私のところに近所の奥さん数人が来られ「あんなのおかしい。班長から言ってください」と苦情がありました。

このお話にはもう少し状況の説明が必要です。年のはじめ、私が町内会費の集金に伺ったときのこと。この奥さんは「町内会を辞めようと思っている。お金 (町内会費) をとられるわりには、何も良いこと (メリット) もない」ということで集金を拒まれました。つまり、町内会の参加が保留状態になっていたのです。4～5年だけの仮住まいだとも聞きました。ですから、この奥さんにとっては「町内会に入っていないのだから町内清掃に参加する必要はない」という、それなりの理屈があったのだと思います。もちろん苦情を言ってこられた近所の人たちはそんな事情を知りません。

こんなデキゴトもあって町内会長に相談に行きました。町内会長は「町内会への加入は任意なので仕方ないでしょう。でも、そのお宅もゴミは出されるでしょう。近所の道だって毎日通るのでしょう。みんなで使う場所なんだから、たとえ町内会に入っていないなくても、一緒に掃除してもらわなければならないでしょうか」とキッパリ。なるほど、です。

町内会長の言葉も含め、もう一度、町内会への参加をお願いにいきましたが、やっぱり納得してもらえず、私が班長の任期を終えた翌年にそのお宅は引っ越していかれました。この奥さんの理屈、町内会長の言葉…あなたはどう思いましたか。

これってやっぱり、みんなの問題。

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
 暮らしサポートセンターしが草津がお手伝いします

 暮らしサポートセンターしが草津
 暮らし何でも相談
TEL:077-564-5512
 住所：草津市大路1丁目1-1 TEL: 932 4F406

センターへの相談は無料です。

- > 暮らしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- > 暮らしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- > 暮らしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- > 暮らしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522

読売新聞



街の安心、安全、
 教育、環境を
 応援していきます。

 **草津五店会** TEL 077-568-2146

まちセンの仲間にインタビュー



大路囲碁クラブ

20名弱の会員がいます。入門コースがあるので、ルールを知らない人も安心して参加してください。囲碁は伝統ある奥の深いゲーム。脳も活性化され、認知症予防にも役立ちます。「4つの基本さえ覚えれば、全くの素人でもすぐできるので、ぜひ体験してください」とは代表の言葉。指し方を教えた孫にいつか負かされる。そんな夢をもって、子どもたちにも囲碁を体験してもらっています。人と人の絆を深めてくれる囲碁、あなたも始めてみませんか。

おとわきくめはるかい 音羽菊女治会

設立は昭和55年、会員は20名です。日本舞踊を体験することで、正しい礼儀・美しい所作が自然と身につきます。誰でも身近に日本舞踊を感じてほしいとの思いから、舞踊の稽古や発表だけでなく作法・着付けの指導などもされ、初めての人でも一歩を踏み出しやすい活動です。子ども(保育園～大学)から高齢者、身体の不自由な人、外国の人、様々な方が集まっています。人との縁を求め、地域のイベントや施設など依頼がある所ならどこへでも積極的に出向かれます。



みんなとめん・めん 通算46号

お問い合わせ先 ● まちづくりセンター ☎ 562-9240 ☎ 562-9340
✉ machi@kusatsu.or.jp

登録団体一覧

みんなでつくるまち。あなたの一步待ってます。

まちづくりセンターでは、現在57団体が登録しています。

- オリーブ ● ザ・セブン ● 滋賀自立生活センター ● 草津・栗東おやこ劇場 ● フリーク ● あゆみ会 ● ゆうネットくさつサポーターの会 ● ひまわり健康体操 ● スマイル ● 花架拳 ● たけのこ会 ● くつろぎヨーガ ● 草津エコー ● 子育て支援グループ はな・はな ● 草津市母親大会連絡会 ● ガールスカウト滋賀県第2団 ● 故郷を大切に作る会 ● 草津塾 ● 草津ワイズメンズクラブ ● 琵琶湖ネット草津 ● 日本民謡八祥会 ● ジムポップ ● つむぎ会 ● 草津市子ども会指導者連絡協議会 ● NPO法人 ディフェンス ● 母と子のいのちを守る会 草津支部 ● コンセラー・クランテヌ ● たんぽぽ ● NPO法人 あかるくする会 ● あげぼの 滋賀 ● 草津クワイア ● 草津市ボーイスカウト協議会 ● 草津でホテルを楽しむ会 ● 草津05倶楽部 ● Teddy Bear ● 朗読サークル「ひだまりの会」草津教室 ● 年金者組合 ● くさつ健・交クラブ ● 草津平和委員会 ● 湖水会 ● 待コミュニケーション ● NPO法人 フィールド オブ ドリームス ● 自主学习グループ・レインボー ● エアロピクス などしこ ● 草津市学童軟式野球連盟 ● 福ふくゼミナール ● ミュージックセラピー ♪ オン・タイム ♪ ● ほっこりヨガ ● NPO法人 滋賀県社会就労事業振興センター ● アクタレーズ ● NPO法人 生命の貯蓄体操普及会 ● 草津モラロジー事務所 ● 大路囲碁クラブ ● 音羽菊女治会 ● 草津今村組 ● びわこてらこや ● いのちとからだの学び会 滋賀HALサークル

■ 団体情報をHP・冊子でご覧いただけます!

HP <http://kusatsu.or.jp/support/>

【冊子】くさつ市民活動情報2014団体情報版つながりのめ

(詳しくは、草津市コミュニティ事業団へお問い合わせください)

このコーナーは、まちづくりセンターの登録団体でつくる「運営協議会」が担当します。運営協議会では、それぞれ自身の活動から少し離れて「みんなの場所」としての、センターの役割やまちのことを考えながら、みんなで一歩ずつ成長する場所です。

みんなとまちづくりセンター
めん・めん

和・輪・What



▲ 波川小の子どもたちが紙しばいを披露

草津の未来を語ろう

周年イベントは「笑顔でつむぐ 草津の未来」をテーマに年に1度開催しているイベントです。センターに登録する団体が日ごとの活動の成果を発表し、団体同士の連携と交流をはかります。

まちづくりセンターは平成30年度にできる(仮)市民総合交流センターに移転する計画もあり、昨年度の12周年イベントでは運営協議会ができた経緯を今一度、見つめ直し、市民と行政による協働のまちづくりの未来について語りました。



▲上：まちづくりセンターの歩みを語る
下：みんなで江州音頭

より道 こ道

「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

第1回・世継地蔵

石田 はま子

草津川の跡地整備で大きく変わるうとしていた国道号線の辺りを歩いてみます。

江戸時代、「東海道十三渡し」の一つに数えられ、旅人が歩いて渡った川底。ここに草津と大路をつなぐ道ができるため、もうすぐ草津川橋が撤去されます。橋の近くにある高野地蔵堂や立木神社御旅所、そして旧東海道沿いにある道標は一時、別の場所に移ります。

道標には「右金勝寺志がらき道」「左東海道いせ道」と刻まれ、昔の写真にはこの道標が橋の袂に写っています。また、昭和10年建立の高野地蔵堂も今とは向きが違っていました。田上山に発する大戸川の工事中に見えられたこのお地蔵さんのお告げで、田

上山が見える向きに建てられたとか。

草津川橋から大路へとカーブする坂を下ります。途中、右に折れる細い道が江戸時代の東海道で、その数十m先に新屋敷公民館があります。公民館前の「世継地蔵」とある碑には江戸の年号、弘化3年(1846)が刻まれています。館内には木製の地蔵堂がありお地蔵さんが安置されています。この世継地蔵は、十三代将軍に嫁ぐ篤姫や新入隊士を連れ京へ帰る新選組の往来も静かに見ていたことでしょう。この道は国道で断ち切られ、先は病院の駐車場となっています。

さて、元の道に戻り、大路から国道へ向かいます。国道に架かる

陸橋から、すぐ目の前に撤去予定の草津川トンネルを望みます。西側のトンネルには「昭和十一年・草津川隧道」と、東側のそれには「昭和四十六年・第二章津川トンネル」と刻まれています。東側の文字は当時の草津中学生のもの。川の下を国道が走る珍しい風景は「くさつ景観百選」にも選ばれました。片側一車線だった昔は、子どもがトンネルの中で遊ぶくらい車が少なかったとか。80年の時を経て、このトンネルの撤去工事がまもなく始まります。



環境緑化機器 貸出し

夏前の草刈り作業に!

みんなの場所をみんなで美しく…。でも夏の草刈りって大変。草津市公園事務所(ロクハ公園)では、そんな町内の思いとご苦労に応えるため、公園や河川での草刈りなどに役立つ環境緑化機器をお貸しします。

●問合せ・申込み●

草津市公園事務所・ロクハ公園 ☎564-3838

詳しくはHP <http://kusatsu.or.jp/park/volunteer/>

貸出機器

- 肩掛式草刈機・背負式草刈機
- ヘッジトリマー・自走式芝刈機
- 樹木粉碎機・耕運機
- 軽トラック 他





If もしも… コンサート中に災害が発生したら…

草津クレアホール 避難訓練コンサート

～市民とつくる安全で安心なホールをめざして～

いつ、どこで遭うかわからない災害。家で、職場で、学校で、そしてコンサートの鑑賞中だって…。当事業団が運営する草津クレアホールでは、市民の皆さまにご協力いただき、コンサート中の災害発生を想定した避難訓練コンサートを実施します。公演中に行われる避難訓練に参加していただける方を募集します。県内初となる本格的な避難訓練コンサートへの参加をお待ちしています。

日時 **6月28日(日) 13:30~16:00**

会場 草津クレアホール

出演 消防音楽隊・草津吹奏楽団・玉川ウインドオーケストラ・草津市合唱連盟・メロディキッズピッコロ

他 ロビーにて防災関連のパネル・グッズ展示・防災指導コーナーなどもあります。

募集 先着300人(入場無料・要整理券)

申込み・問合せ

草津クレアホール 草津市野路六丁目15-11
☎564-5815 / ☎564-5851

申込みは、既定の申込用紙に記入の上、ファックスにて。
(申込用紙はHPからもダウンロードできます)

詳しくはHP <http://creahall.net/>

まちづくり機器 貸出し

町内会・子ども会・老人会や市民活動団体など、地域のコミュニティやイベントで使用する各種まちづくり機器を貸し出しています。



貸出機器

- 鉄板焼き器
- ポップコーン機
- かき氷機
- もちつきセット
- パーティビンゴ 他

● 問合せ・申込み ● 市立まちづくりセンター ☎562-9240 詳しくはHP <http://kusatsu.or.jp/machisen/rental/>

いか焼き器で



今年の夏まつりは、いか焼きをいかが?
みなさん、おススメ、いやいやおススメです。



さあ、夏まつりの季節。まちづくりセンターでは町内の交流を深める祭りやイベントを盛り上げる模擬店などに欠かせない各種まちづくり機器を貸出しています。

うまいカンタン! な「いか焼き」は特におススメです。

レシピ提供：草津市ボランティア連絡協議会
顧問・元会長 山岡マキノさん



マキノさんの『いか焼き』レシピ

200枚分

準備

- 小麦粉(または薄力粉) 750g
- お好み焼き粉 250g
- 粉かつお 8g
- 重曹 大さじ1杯弱

これらを1,200mlの水でこね、一日寝かせる。**ポイント** 焼く前に少量の水でほぐします。

焼く

- ①細かく切ったいかに米粉をまぶす。**ポイント**
- ②おたま1杯分を「いか焼き器」の鉄板に広げる。
- ③いかを生地の上に乗せ、30秒ほどプレス。
- ④ソースと粉かつおをかけ、生地を半分に分けるとできあがり!

草津市ボランティア連絡協議会とは?

草津市ボランティアセンター登録グループで組織されています。グループの横のつながりを目指し、ボランティア活動に関する問題点や課題に取り組み、まちづくり・福祉関係団体と協力しあって福祉のまちづくりを進めることを目的に活動しています。

● 問合せ・申込み ● 市立まちづくりセンター ☎562-9240
詳しくはHP <http://kusatsu.or.jp/machisen/rental/>

見つけて ズッキリ!

どっか ふるさと草津“変”

6月下旬から8月下旬にかけてツクサを大きくしたようなコバルトブルーの花が咲きます。市の花でもあるアオバナは友禅染の下絵材料として古くから利用されてきました。現在はアオバナを使った商品が開発されています。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5カ所あります。まちがっている部分を答えてね。



イラスト：大村恵（編集ボランティア）

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしております。

※切...6月30日(火) 当日消印有効

宛先

〒525-0037 草津市西大路町9番6号
 (公財)草津市コミュニティ事業団
 「コミュニティくさつ6月号」係
 ☒ com-com@mx.biwa.ne.jp
 ☎562-9340

プレゼント

正解者の中から抽選で市立まちづくりセンターにある喫茶「すてっぷ」のお食事券と手づくりクッキーを合わせたチケット(1000円相当)を5名様にプレゼント

●あおばなフェスタ2015

水生植物公園みずの森
 展示・体験コーナー・関連商品販売など
 7月26日(日) 9:00~16:00 予定

●お問い合わせ先

草津あおばな会事務局(草津市農林水産課内)
 ☎561-2455

前回の 答え



たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で皆さまの個人情報公表・利用することはありません。

NEW

ポイント

みんなの声と笑顔をお届けします。

『夏といえば』



ロクハ荘

クリアホール

なごみの郷

まちセン

アマカホール

ロクハ公園

熊谷栄三郎の
徒然草
つれづれくさつ

第17回

どうだ

京都よ……

熊谷栄三郎



草津から比叡山を眺めるのが好きである。毎日、見る。比叡は草津の山だ、とさえ思うようになった。事典には、京都の山のように書かれていることがある。京都人も、自分とこの山のように言う。なんか、悔しい。

草津から眺めれば分かる。比叡山は長大な左右の腕を広げて、まるで琵琶湖ごと草津などの平野を見守るように展開している。草津の中心部からは、大比叡と四明岳の二峰に分かれて見えるが、琵琶湖博物館の方へ移動してから見ると、主峰は見事な一つの円錐形として見えるという不思議もある。

この峰々に古来、あまたの人々が人生や神仏のことを究めようと分け入り、回峰行や瞑想に励んできた。そんな山容の端から端までを、草津からなら一望できるのだ。空気がきれいで静かだった昔は、僧や修験者たちの灯火も見え、武者たちが仕掛ける焼き討ちの狼藉の音までも聞こえたのではないかと。比叡に三つある聖域エリアの一つ、横川(よかわ)のことを少し。

草津市内から琵琶湖方向へと伸びる淡海くさつ通りの直線部分に立ち、比叡連峰を眺めると、まっすぐ延長線上に、お碗を伏せたような水井山が見える。この山の懐が横川地域である。親鸞、日蓮、道元などの名僧たちが修行した所だ。

平安中期、恵心僧都(源信)がここで書いた「往生要集」は日本人の地獄観の原点になったという。彼の発案で病む僧のためにホスピスのようなものが出たのもこの山だった。そういえば、おみくじもここから始まったとか。草津からなら、手にとるように見える霊峰と日本史のあれこれ。同じ比叡でも、京都から見るのとは一味違う、と私は思う。

そこで今回の題を省略せず、小声でいうと「どうだ京都よ、まいったか」である。お前はそんなに威張っているが、草津からでは登れないじゃないか。それでもいいの、かと反論する人もいるだろう。いいんです。だって、登れば比叡山が見えなくなるもの。

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に関する内容に限ります。
(この広告掲載は事業団が行う市民公益寄付金制度における寄付金として処理させていただきます)

● 1回1枠(名刺サイズ)5,000円

コミュニティくさつ

● 約57,000部発行(年4回)

● 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● **申込み・問合せ**

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

編集後記

- 私の近所の人々はみな仲良し。移り住んできたのが同じころだからでしょうか。会えば笑顔、ちょっとした挨拶。それが大切なのでしょうね。(中井)
- 道路や河川敷にゴミを不法投棄する人は、ゴミと一緒に社会人としてのプライドを捨てている。(橋詰)
- やがて己の始末ができなくなり、他人どころでは…。共助破綻、次いで自助も。いよいよ知恵が出番の時代です。(大條)
- 町内会にも本音と建前があるのでしょうか。とにかく！楽しい素敵な町内会になってほしいですね。(大石)
- 季節が一気に進んで、新緑が美しい。博物館のハンカチノキの花が今年はよく咲いていました。ロクハ公園や博物館で大いに緑を楽しんでくださいよ。(矢原)
- 知り合いに教えてもらい「おばあちゃんドーナッツ」をバケツいっぱい作りました。素朴でやさしい味だと大絶賛。2日でなくなったけれど私は1つしか食べてない。(大村)
- 小川や田んぼの用水路に水がさらさらと流れ、大地を潤す季節が大好き。たんぼぼ・菜の花・チョウチョ・メダカにフナ、そしてホタル。みんなその時を知っている。(中村)



**「コミュニティくさつ」は、
みんなでつくる
まちづくり情報誌です!**

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 知り合い・団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● **申込み・問合せ**

(公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかなっています。

